

「日吉ダム水源地域ビジョン連絡会」を開催！！

日吉ダムでは、平成23年6月24日に日吉ダム管理所において「日吉ダム水源地域ビジョン連絡会」を開催しました。

この会議は、平成14年5月に1回目が開催され、今回で18回目となります。これまで会議では、国、京都府、南丹市などの12の関係機関が出席し、ダムを活かした地域振興や水源地域の活性化について、話し合いが行なわれてきました。

日吉ダムは、平成5年4月に「地域に開かれたダム」として第1号の指定を受け、その後、京都府、旧日吉町、旧京北町によって「スプリングスひよし」、「府民の森ひよし」や「宇津峡公園」などが整備され、ダムやこれら周辺施設などに毎年50万人以上の人々が訪れています。これらダム等への来訪者数としては、全国で（国の直轄ダム及び機構ダムの計102ダムのうち）第3位に当たります。

今回は、昨年度の活動状況と今年度の活動計画、湖面利用、情報発信などについて話し合い、これまで進めてきた施設の整備、イベント、美化活動などを引き続き進めていくことを確認しました。

日吉ダムでは、「水源地域ビジョン連絡会」で確認されたことを着実に実施することにより、日吉ダムの魅力をさらに増し、多くの人達が来訪し、気持ち良く利用していただけるように努めてまいります。



【「水源地域ビジョン連絡会」開催状況】

《一口メモ》

【「ダム水源地域ビジョン」とは】

「水源地域ビジョン」とは、ダム水源地域の自治体等と共同し、ダムを活かした水源地域の自立的、持続的な活性化を図るための行動計画です。